

報道関係者各位(研究情報)

2019年8月16日

「HTCコラーゲン」と「バラつぼみエキス」の組み合わせで コラーゲン産生促進に関する特許を取得

株式会社ファンケルは、20年以上前から肌の弾力維持に重要な役割を果たすコラーゲン全般の研究を進めています。今回、当社の独自成分である「HTCコラーゲン」と、コラーゲンの分解を抑制する「バラつぼみエキス」の組み合わせが、コラーゲンの産生機能を相乗的に高めることを確認しました。本研究成果は、「コラーゲン産生促進用組成物」として特許(第6553790号)を取得しましたのでお知らせいたします。

<研究目的>

「HTCコラーゲン」は、コラーゲンの最小単位であるトリペプチド⁽¹⁾を多く含み、吸収されやすい大きさの当社オリジナルのコラーゲンです。一般的なコラーゲンと比べ、コラーゲンを生み出す力が高いことが分かっています。「バラつぼみエキス」は紫外線や加齢、精神的、肉体的なストレスなどによって活性化されるコラーゲン分解酵素の働きを阻害する働きがあるため、コラーゲンを過剰な分解から守る働きが期待できます。これらを組み合わせることで、さらなる機能性の向上につながると考え、研究を行いました。

<研究方法と結果>

「HTCコラーゲン」と「バラつぼみエキス」による肌への効果を確認するため、培養ヒト皮膚線維芽細胞⁽²⁾によるI型コラーゲン⁽³⁾の産生を促進させる効果を測定しました。培養液中に「HTCコラーゲン」と「バラつぼみエキス」、「両成分の組み合わせ」をそれぞれ添加し、I型コラーゲン産生量を測定しました。その結果、各成分を単独で添加した培養液のI型コラーゲンの産生増加量を合計した併用理論値のコラーゲン量より、「両成分の組み合わせ」による併用実測値のコラーゲン量が顕著に上昇することが確認され、組み合わせによる相乗効果が確認できました(図参照)。

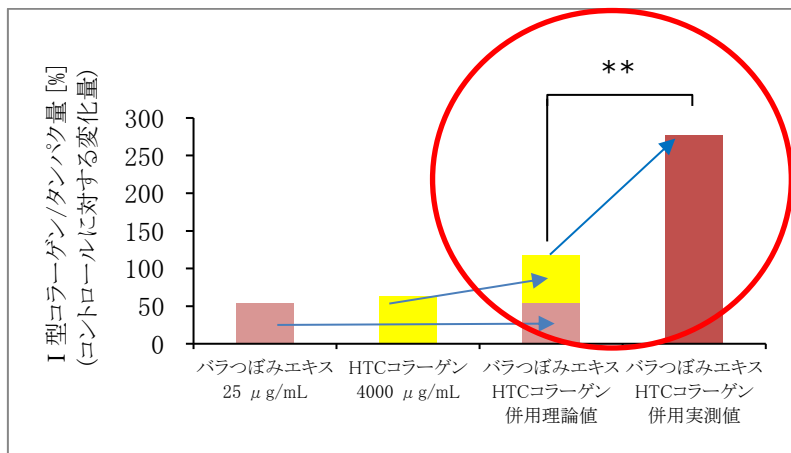


図: 「HTCコラーゲン」と「バラつぼみエキス」の併用によるコラーゲン産生増加

** $p < 0.01$, vs 併用理論値

<成果の活用>

本研究で得られた結果について特許出願し、このたび特許第 6553790 号「コラーゲン産生促進用組成物」として登録されました。この成果は、新しい美容食品の開発に応用していきます。今後もコラーゲンをはじめとするアンチエイジング機能に関する研究技術力を高め、お客様からご満足いただける製品の開発に力を入れてまいります。

<用語説明>

- (1)トリペプチド: 3つのアミノ酸が繋がったもの。
- (2)ヒト皮膚線維芽細胞: 真皮に存在し、肌の構造を保つためのコラーゲンやエラスチンを産生する細胞。
- (3) I型コラーゲン: 体内で作られるコラーゲンの中で体内にもっとも多く存在するコラーゲン。

本件に関する報道関係者の皆様からのお問合せ先

株式会社ファンケル 社長室 広報グループ

TEL:045-226-1230 FAX:045-226-1202 / <https://www.fancl.jp/laboratory/>